



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL https://www.pacific-ind.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川信也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺智 (TEL) 0584-93-0117
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,838	△44.5	△2,249	—	△1,784	—	△1,299	—
2020年3月期第1四半期	42,924	33.5	2,891	50.0	2,964	20.4	2,113	15.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,261百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 967百万円(△52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△21.50	—
2020年3月期第1四半期	35.03	34.85

(注) 当第1四半期連結会計期間(2021年3月期第1四半期)の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	203,905	96,294	46.8
2020年3月期	204,280	98,422	47.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 95,493百万円 2020年3月期 97,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	14.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,500	△29.3	△1,600	—	△1,000	—	△1,000	—	△16.53
通期	135,000	△18.7	2,000	△81.0	3,000	△73.0	2,000	△72.4	33.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	61,312,896株	2020年3月期	61,312,896株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	816,455株	2020年3月期	868,865株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	60,457,136株	2020年3月期1Q	60,339,662株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	2
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
(4) 【利益配分に関する基本方針及び当期の配当】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日。中国とフランスの子会社は2020年1月1日～2020年3月31日の業績を連結）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、急激に減速しました。同感染症の拡大防止のため、各国・各地域で都市封鎖、人・物の移動制限、外出規制が行われ、消費需要は低下、生産活動は停滞しました。提出日現在、同感染症の拡大および防疫規制については引き続き警戒が必要であり、今後、第2波の発生も懸念され、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、前年同期比で日本では約4割、欧米では約6割、中国（1～3月期）では約3割の減産となりました。

このような中、当社グループは「感染防止・生産体制維持を第一義に、GLOCALで足元固めをする」方針のもと、社員の感染防止、受注変動に合わせた生産調整、雇用維持と公的助成制度の活用、仕入先とのサプライチェーンの維持、投資の抑制・延期、コミットメントライン設定による運転資金の確保等を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、238億38百万円（前年同期比44.5%減）となりました。利益面では、売上減による利益減により、営業損失22億49百万円（前年同期は営業利益28億91百万円）、経常損失17億84百万円（前年同期は経常利益29億64百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12億99百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益21億13百万円）となりました。

【セグメント別の状況】

（プレス・樹脂製品事業）

コロナ影響による受注減により、当事業全体の売上高は157億32百万円（前年同期比47.1%減）、営業損失は21億16百万円（前年同期は営業利益12億19百万円）となりました。

（バルブ製品事業）

コロナ影響による受注減により、当事業全体の売上高は80億74百万円（前年同期比38.7%減）、営業損失は1億37百万円（前年同期は営業利益16億85百万円）となりました。

（その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は31百万円（前年同期比7.6%増）、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,039億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億74百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は590億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億30百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が31億79百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が57億54百万円減少したことによるものであります。受取手形及び売掛金の減少は、主に売上高の減少によるものであります。

固定資産は1,448億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億56百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が14億2百万円増加したことによるものであります。有形固定資産の増加は、主に生産準備に係る設備・金型等の投資であります。

負債の部では、流動負債は422億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億91百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が20億8百万円、1年内返済予定の長期借入金が23億37百万円、未払金が12億85百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が33億72百万円、電子記録債務が13億39百万円、賞与引当金が7億74百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は653億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億44百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が26億円増加したことによるものであります。長期借入金は主に設備投資資金に充当することとしております。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が6億24百万円増加しましたが、利益剰余金が21億52百万円、為替換算調整勘定が6億24百万円減少したこと等により、前連結会計年度末から21億27百万円減少し962億94百万円となりました。

有利子負債は、コロナ影響による売上減への備え等により、前連結会計年度末から69億46百万円増加し、706億4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は46.8%となり、前連結会計年度末と比較して、1.0ポイント減少しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当社グループは、日本および海外7カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、第1四半期の連結業績実績に加え、各国の規制状況や顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第2四半期以降は徐々に回復していくとの仮定のもと、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を算定いたしました。また、第2四半期連結会計期間以降の為替レートの前提は、1US\$=105円と置いております。

これらの仮定には不確実性が含まれているため、今後の同感染症の拡大状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

2021年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想値の修正 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	58,500	△1,600	△1,000	△1,000	△16.53
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2020年3月期 第2四半期累計)	82,765	4,683	4,935	3,473	57.53

2021年3月期 通期の連結業績予想値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	135,000	2,000	3,000	2,000	33.06
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	165,969	10,511	11,130	7,256	120.12

(4) 【利益配分に関する基本方針及び当期の配当】

当社は、株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しております。

剰余金の配当につきましては、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案し、株主のみなさまのご期待にお応えしていきたいと考えております。

内部留保につきましては、企業価値の向上ならびに株主利益を確保するため、より一層の企業体質の強化・充実をはかるための投資に充当し、今後の事業展開に役立ててまいります。

当期の配当につきましては、これまで当期の業績予想を未定としていたことに合わせて、配当も未定としておりましたが、このたび算定した業績予想を踏まえ、上記基本方針に基づき、1株につき中間配当は10円、期末配当も10円を予定しております。

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,315	21,495
受取手形及び売掛金	24,452	18,697
商品及び製品	6,522	6,507
仕掛品	4,638	5,291
原材料及び貯蔵品	3,829	3,972
その他	3,375	3,151
貸倒引当金	△74	△86
流動資産合計	61,060	59,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,155	25,877
機械装置及び運搬具（純額）	41,729	44,268
工具、器具及び備品（純額）	5,499	6,159
土地	9,884	9,934
リース資産（純額）	1,219	1,168
建設仮勘定	13,873	12,356
有形固定資産合計	98,361	99,764
無形固定資産		
のれん	8,056	7,685
その他	5,626	5,422
無形固定資産合計	13,682	13,108
投資その他の資産		
投資有価証券	25,796	26,600
その他	5,382	5,406
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	31,175	32,003
固定資産合計	143,219	144,875
資産合計	204,280	203,905

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,876	7,504
電子記録債務	7,017	5,677
短期借入金	4,720	6,729
1年内返済予定の長期借入金	6,450	8,787
未払金	4,457	5,743
未払法人税等	583	175
賞与引当金	1,563	788
役員賞与引当金	57	-
その他	7,080	6,809
流動負債合計	42,807	42,215
固定負債		
長期借入金	52,471	55,072
役員退職慰労引当金	184	158
退職給付に係る負債	682	639
その他	9,712	9,525
固定負債合計	63,050	65,395
負債合計	105,858	107,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,705	7,732
利益剰余金	73,443	71,291
自己株式	△246	△230
株主資本合計	88,220	86,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,653	11,277
為替換算調整勘定	△1,139	△1,764
退職給付に係る調整累計額	△176	△130
その他の包括利益累計額合計	9,337	9,382
新株予約権	184	141
非支配株主持分	680	659
純資産合計	98,422	96,294
負債純資産合計	204,280	203,905

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	42,924	23,838
売上原価	36,780	23,269
売上総利益	6,143	568
販売費及び一般管理費	3,251	2,817
営業利益又は営業損失(△)	2,891	△2,249
営業外収益		
受取利息	23	9
受取配当金	285	285
持分法による投資利益	69	5
為替差益	-	187
その他	93	109
営業外収益合計	472	597
営業外費用		
支払利息	78	100
為替差損	294	-
その他	26	33
営業外費用合計	399	133
経常利益又は経常損失(△)	2,964	△1,784
特別損失		
固定資産除売却損	28	28
特別損失合計	28	28
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,935	△1,813
法人税等	818	△482
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,116	△1,331
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,113	△1,299

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,116	△1,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	598
為替換算調整勘定	△1,333	△538
退職給付に係る調整額	△34	45
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△35
その他の包括利益合計	△1,149	69
四半期包括利益	967	△1,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	958	△1,253
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△7

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,721	13,174	42,895	28	42,924	—	42,924
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	84	84	△84	—
計	29,721	13,174	42,895	113	43,009	△84	42,924
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,219	1,685	2,904	△18	2,886	5	2,891

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額5百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,732	8,074	23,806	31	23,838	—	23,838
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	82	82	△82	—
計	15,732	8,074	23,806	113	23,920	△82	23,838
セグメント損失(△)	△2,116	△137	△2,254	△11	△2,265	16	△2,249

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

当社グループは、日本および海外7カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、第1四半期の連結業績実績に加え、各国の規制状況や顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第2四半期以降は徐々に回復していくとの仮定のもと、有形固定資産および無形固定資産の減損会計の適用、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

上記の仮定は、前事業年度の連結財務諸表の作成に用いた仮定から、重要な変更はありません。

これらの見積りには不確実性が含まれているため、予測不能な前提条件の変化等により見積りが変化した場合には、結果として将来追加で費用または損失を計上する可能性があります。